

株主のみなさまへ



# 第168期 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

証券コード：4046

<http://www.osaka-soda.co.jp/>

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.osaka-soda.co.jp/">http://www.osaka-soda.co.jp/</a> (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

### 単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は、1単元(100株)に満たない当社株式を所有されている株主さまの便宜をはかるため、「単元未満株式の買増・買取制度」を実施しております。

お手続きなどの詳細に関しましては、証券会社にて株式を管理されている場合はお取引先の証券会社に、特別口座にて株式を管理されている場合は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

当社グループをより知っていただくために、ホームページもご活用ください。

- 最新の情報はこちらでご覧いただけます。  
ホームページアドレス  
<http://www.osaka-soda.co.jp/>



トップ  
ページ

Something **Better** with Chemicals

化学で笑顔を  
育む会社

すごソダ



株式会社 大阪ソーダ

本社 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18  
TEL.06-6110-1560



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社グループは、第168期中間期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の決算を行いましたので、ここに事業の概況についてご報告申しあげます。

2022年12月

代表取締役社長執行役員

寺田 健志

### グループ 企業理念

独創的な  
技術と製品により  
安心して豊かな社会の  
実現に貢献します

### 業績ハイライト

売上高	519 億円	前年 同期比	23.1% ↑
営業利益	97 億円	前年 同期比	70.7% ↑
経常利益	109 億円	前年 同期比	76.3% ↑
当期純利益	75 億円	前年 同期比	69.7% ↑
中間配当	45 円	前年 同期比	+10 円 ↑

## 事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、持ち直しの動きが続いております。今後も回復基調が続くものと期待されますが、供給面での制約や原燃料価格の高騰に加え、ウクライナ情勢の長期化や中国でのゼロコロナ政策による経済活動の停滞、急激な為替変動等の影響もあり、先行きは不透明な状況となっております。

このような環境のもと、当社グループは、第7次中期経営計画「EMPOWER THE NEXT-22」の最終年度を迎え、「レジリエントな事業基盤の構築」、「マーケットイン型開発の推進」、「SDGsへの取り組み」および「企業文化・組織風土の改革」の4つの基本方針に基づき、全社一丸となって具体的な施策に取り組みました。

「レジリエントな事業基盤の構築」では、化学品事業、機能材事業、ヘルスケア事業の3つの事業をコア事業と位置づけ強靱化戦略を推進しています。当第2四半期連結累計期間においては、化学品事業では、さらなる原燃料価格上昇に対応した価格改定を実施するとともに生産効率改善のための更新投資・コストダウンに引き続き取り組みました。機能材事業では、前年度に生産体制を強化したアリルエーテル類の拡販をさらに推し進めました。ヘルスケア事業で

は、今期中の完成を目指して医薬品原薬・中間体および医薬品精製材料の設備投資を進めております。

「マーケットイン型開発の推進」では、NEDOのグリーンイノベーション基金事業として採択された全固体電池用超高イオン伝導性ポリマーの開発を進めております。

「SDGsへの取り組み」では、当社グループの取り組みを一層強化、推進するため、サステナビリティ委員会の設置を決定しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、519億1千5百万円と前年同期比23.1%の増加となりました。利益面におきましては、営業利益は97億2千2百万円と前年同期比70.7%の増加、経常利益は108億5千4百万円と前年同期比76.3%の増加、親会社株主に帰属する当期純利益は75億5百万円と前年同期比69.7%の増加となり、当第2四半期連結累計期間の各段階利益は過去最高を大幅に更新いたしました。

## 今後の見通し

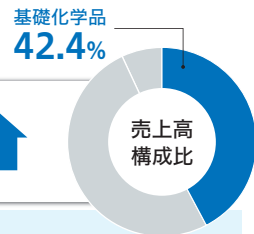
通期の業績見通しにつきましては、本年8月5日に上方修正いたしましたとおり、売上高980億円、営業利益157億円、経常利益169億円を見込んでおります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

## 部門別の状況(連結)

### 基礎化学品

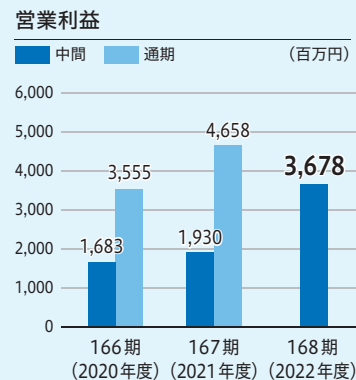
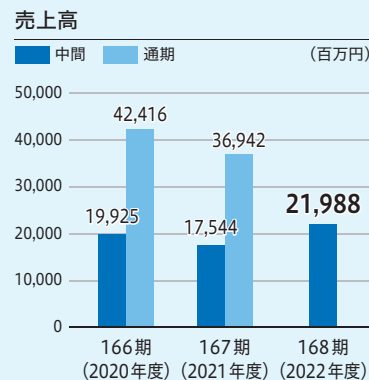
売上高 **219億8千8百万円** 前期比**25.3%**増加↑



クロール・アルカリは、かせいソーダを中心に需要が堅調に推移したことに加え、原燃料価格上昇にともなう価格改定を進めたことにより、売上高は増加しました。

エピクロルヒドリンは、原燃料価格上昇にともなう価格改定を進めたことに加え、為替の影響もあり、売上高は増加しました。

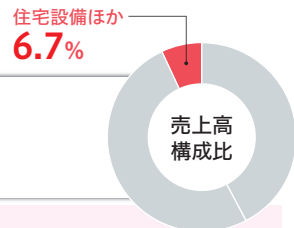
以上の結果、基礎化学品の売上高は219億8千8百万円と前年同期比25.3%の増加となりました。



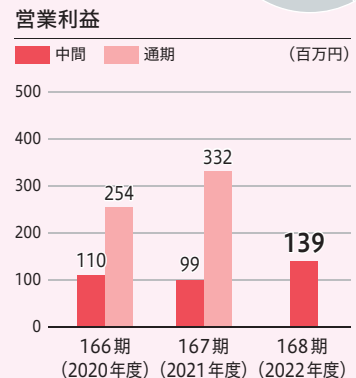
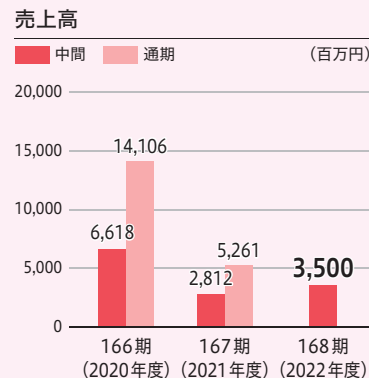
※2021年度(167期)期首より収益認識に関する会計基準等を適用

### 住宅設備ほか

売上高 **35億円** 前期比**24.4%**増加↑



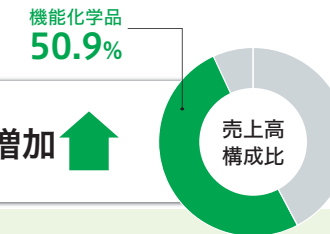
生活関連商品の販売が堅調に推移した結果、住宅設備ほかの売上高は35億円と前年同期比24.4%の増加となりました。



※2021年度(167期)期首より収益認識に関する会計基準等を適用

### 機能化学品

売上高 **264億2千6百万円** 前期比**21.2%**増加↑



合成ゴム関連では、エピクロルヒドリンゴムは、自動車用途向けは自動車生産台数の減少による影響を受けましたが、OA用途向けのシェア拡大により、売上高は増加しました。アクリルゴムは、国内をはじめアジアで新規採用が進んだため、売上高は増加しました。

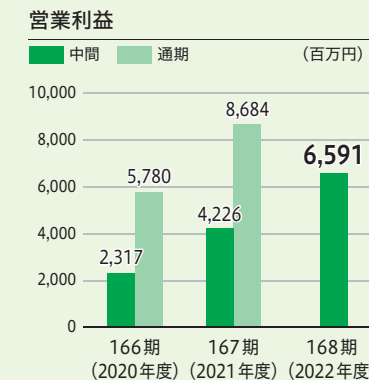
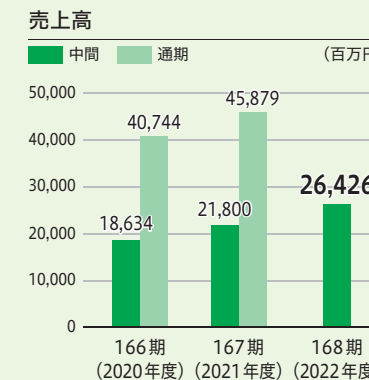
ダップ樹脂は、欧州および中国での絶縁ワニス用途向けを中心に販売が増加したため、売上高は増加しました。

アリルエーテル類は、欧米で塗料および電子材料用途を中心とするシランカップリング剤向けの拡販が進んだことに加え、為替の影響もあり、売上高は増加しました。

医薬品精製材料は、欧米ならびにアジア向けの糖尿病治療薬用途等の需要が拡大し、売上高は増加しました。医薬品原薬・中間体は、糖尿病の合併症治療薬中間体、

不眠症治療薬中間体および骨粗鬆症治療薬原薬の販売が拡大したため、売上高は増加しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は264億2千6百万円と前年同期比21.2%の増加となりました。



※2021年度(167期)期首より収益認識に関する会計基準等を適用

### 当社グループのセグメントと主要製品

#### ●セグメント

#### 基礎化学品

かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、塗料原料、接着剤原料など

#### 機能化学品

アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、アクリルゴム、ダップ樹脂、ノンフタレート型アリル樹脂、高純度エポキシ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、医薬品精製材料、カラム・装置等分析機器、医薬品原薬・中間体、光学活性体、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、グラスファイバー、資源リサイクルなど

#### 住宅設備ほか

ダップ加工材、生活関連商品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント・環境保全設備建設など



# 連結財務諸表

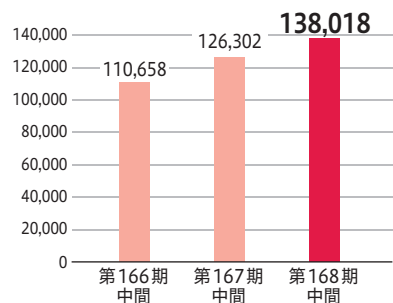
## 中間連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	前中間連結会計期末 (2021年9月30日)	当中間連結会計期末 (2022年9月30日)	前連結会計年度末 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>			
流動資産	79,096	89,939	82,142
固定資産	47,206	48,078	47,016
有形固定資産	22,710	23,883	23,594
無形固定資産	690	510	550
投資その他の資産	23,804	23,684	22,871
資産合計	126,302	138,018	129,159
<b>負債の部</b>			
流動負債	39,610	32,869	39,850
固定負債	6,207	5,398	5,412
負債合計	45,817	38,267	45,263
<b>純資産の部</b>			
株主資本	72,654	91,781	76,859
その他の包括利益累計額	7,822	7,940	7,012
非支配株主持分	8	28	23
純資産合計	80,485	99,750	83,896
負債純資産合計	126,302	138,018	129,159

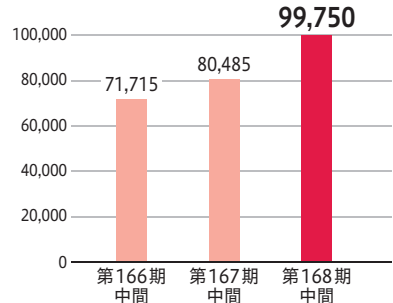
## 総資産

(単位:百万円)



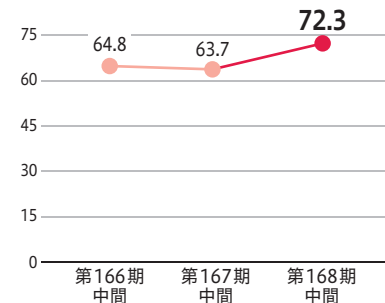
## 純資産

(単位:百万円)



## 自己資本比率

(単位:%)



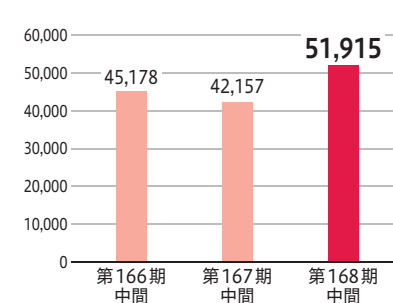
## 中間連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	前連結会計年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日)
売上高	42,157	51,915	88,084
売上原価	29,829	35,139	61,993
売上総利益	12,327	16,775	26,090
販売費及び一般管理費	6,633	7,053	13,688
営業利益	5,694	9,722	12,401
営業外収益	528	1,265	1,156
営業外費用	64	134	122
経常利益	6,158	10,854	13,435
特別利益	304	—	309
特別損失	64	123	333
税金等調整前四半期純利益	6,398	10,730	13,412
法人税、住民税及び事業税	2,105	3,178	4,141
法人税等調整額	△128	46	△171
四半期純利益	4,421	7,504	9,441
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,421	7,505	9,442

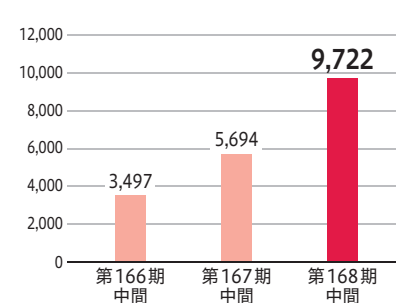
## 売上高

(単位:百万円)



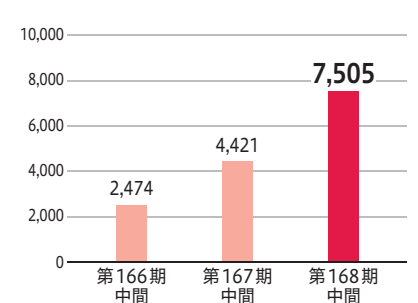
## 営業利益

(単位:百万円)



## 親会社株主に帰属する 四半期純利益

(単位:百万円)



## 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,277	5,922	13,378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,322	△3,005	△6,961
財務活動によるキャッシュ・フロー	△795	△1,339	△1,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	98	693	310
現金及び現金同等物の増減額	4,258	2,271	5,080
現金及び現金同等物の期首残高	31,936	37,016	31,936
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	36,194	39,288	37,016

## TOPICS

### NEDOのグリーンイノベーション基金事業に採択

本年4月、当社が開発中の「全固体電池用超高イオン伝導性ポリマー」が、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のグリーンイノベーション基金事業/次世代蓄電池・次世代モーターの開発プロジェクトに採択されました。近年、自動車のEV化にともない、全固体電池※の実用化が期待されています。当社では、実用化最大の課題である高容量化による小型軽量化の解決に向けて、充放電時に負極で起こる体積変化に追従する素材開発ならびに製造技術の確立を目指しています。全固体電池の社会実装に取り組むことで、2050年のカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

#### グリーンイノベーション基金事業とは?

日本政府が掲げる2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、エネルギー・産業部門の構造転換や、大胆な投資によるイノベーションに取り組む企業等に対して、10年間、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援するものです。



※全固体電池:リチウムイオンを移動させるための電解液を固体で構成した電池。可燃性材料を使用した従来の液体電解質に比べ安全性が高いだけでなく、温度変化に強い、急速充電が可能といった性能面からも実用化が期待されています。

## 株式の状況

発行可能株式総数 ----- 60,000,000株  
 発行済株式の総数 ----- 26,732,017株  
 株主数 ----- 5,412名

## 大株主一覧(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,420	13.18
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,795	6.92
株式会社三菱UFJ銀行	876	3.38
株式会社福岡銀行	822	3.17
株式会社伊予銀行	748	2.88
帝人株式会社	678	2.61
株式会社みずほ銀行	669	2.58
日本生命保険相互会社	637	2.45
ダイソー協栄会	636	2.45
損害保険ジャパン株式会社	615	2.37

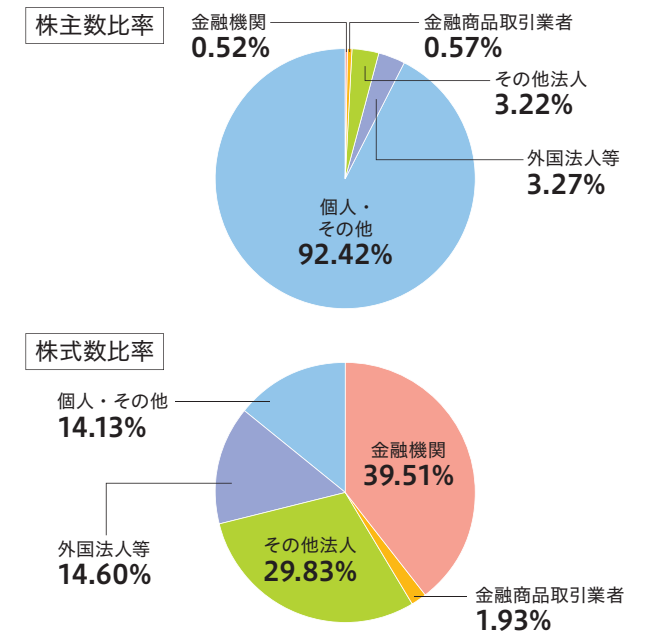
(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(797,552株)を控除して計算しております。

## 中間配当について

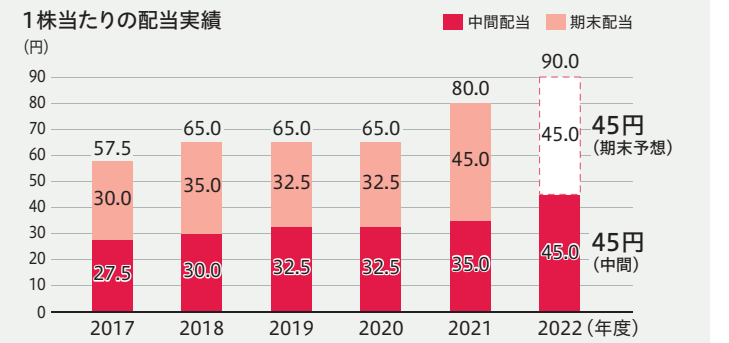
- 1.中間配当金 1株当たり45円
- 2.支払開始日 2022年12月5日(月)

(注)2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っており、2017年度の期首に株式併合が行われたものと仮定して配当金を計算しております。

## 株主分布状況



(注)「個人・その他」には、当社の自己株としての保有分(2.98%)が含まれております。



# 会社概要 (2022年9月30日)

社 名 ----- 株式会社大阪ソーダ  
 OSAKA SODA CO., LTD.  
 U R L ----- <http://www.osaka-soda.co.jp/>  
 創 立 ----- 1915年(大正4年)10月26日  
 資 本 金 ----- 15,871百万円  
 連結従業員数 ----- 1,001名

## 関係会社の状況

国内	会社名	主要な事業内容
	ダイソーケミカル(株)	化学製品・生活関連商品等の販売
	ダイソーエンジニアリング(株)	電極の製造・販売、化学設備の設計・施工
	サンヨーファイン(株)	医薬品原薬・中間体の製造・販売
	(株)ジェイ・エム・アール	資源リサイクル
	DSロジスティクス(株)	化学製品の運送取扱い
	サンヨーファイン医理化テクノロジー(株)	カラム・装置等分析機器の製造
	DSウェルフーズ(株)	健康食品素材の製造・加工販売
	ダイソーインシュアランス(株)	損害保険・生命保険の取扱い
	日東化工(株)	ゴム製品・樹脂製品の製造・販売
	(株)INBプランニング	ゴムコンパウンドの製造・販売

海外	会社名	主要な事業内容
	三耀精細化工品銷售(北京)有限公司	カラム・装置等分析機器の販売
	DAISO Fine Chem USA, Inc.	医薬品精製材料の製造・販売
	DAISO Fine Chem GmbH	医薬品精製材料・機能化学品等の販売
	大曹化工貿易(上海)有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
	台灣大曹化工股份有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
	DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	機能化学品・電子材料等の輸出入
	DestinHaus Capital Fund 1 LP	投資事業

## 役員

### [取締役・監査役]

代表取締役 社長執行役員	寺田健志
取締役 常務執行役員	堀登
取締役 上席執行役員	小西淳夫
取締役(社外)	二村文友
取締役(社外)	百嶋計
取締役(社外)	宮田興子
常勤監査役	瀬川恭史
常勤監査役(社外)	藤敷重紹
監査役(社外)	森真二

### [執行役員]

上席執行役員	平井直
執行役員	雑賀哲行
執行役員	木村武司

# 大阪ソーダグループのネットワーク (2022年9月30日)

●国内拠点・研究センター  
 ●生産拠点

